

葛葉川ふるさと峡谷だより

2026年

10月号

くずは

2026. 10. 10

発行 くずはの家

〒257-0031 秦野市曾屋 1137

TEL & FAX 0463(84)7874

今月の話題 郷土玩具「すすきみみずく」

くすのき広場は、どんぐり山の雑木林に対して、明るく開けた草原を好む生きものの生息環境を目指して管理しています。広場にはススキの株やススキそっくりのオギが繁っていて、小規模ですがこの原っぱにはイナゴやショウリョウバッタなどのバッタや、マエグロハネナガウンカ、エビイロカメムシなどのカメムシ類、また、トリノフンダマシ類のクモなどが生息しています。

9月も下旬になると、ススキやオギは銀色の穂を出し花を咲かせます。箱根仙石原のような大規模なススキ草原とは行きませんが、秋を感じる景色が見られます。

東京都豊島区雑司ヶ谷にある威光山法明寺というお寺は、法華経に登場する仏教の守護神である鬼子母神をまつっていて、雑司ヶ谷の鬼子母神として有名です。

この雑司ヶ谷の鬼子母神周辺では、ススキの穂を使って作った可愛い「すすきみみずく」が郷土玩具として売られています。

この「すすきみみずく」には、次のようなお話があるそうです。

昔、おくめという娘が母親と二人で暮らしていました。

あるとき大切な母親が病気になってしまいます。

しかし家は貧しく、十分な薬を買い手ができません。

そこで、母親の病気が治るようお願いしたおくめは、雑司ヶ谷の鬼子母神へお参りを続けました。

そして満願の日。疲れ果てて眠ってしまったおくめの夢に蝶が現れ、『ススキの穂でみみずくを作り、それを売りなさい』という趣旨のお告げを受けました。

目を覚ましたおくめは、お告げの通りにすすきみみずくを作って売りました。

するとみみずくはよく売れ、そのお金で薬を買い手ができ、母親の病氣も快方へ向かいました。これが、「すすきみみずく」の由来とされるお話です。



すすきみみずく

くずはの家では11月28日(土)9:30から、この「すすきみみずく」を作る工作を行います。くすのき広場のススキはいろいろな生きものを観察するために必要なもので、さすがにここから工作用に穂を採るわけにはいきませんが、葛葉緑地には他にもススキがたくさん生えているところがあり、そこから自然遊び分科会の皆さんが、ススキの穂を採ってきて乾燥させてあります。さて、皆さんが作るみみずくはどんなみみずくになるのでしょうか。可愛いみみずくが作れるといいですね。

文：くずはの広場所長 高橋孝洋



9/13(日)「見て触って感じて クマ博士になろう！」(18人)

参加者の声・くまのうんちが臭くないのは初めて知りました。くまの事がよく分かり面白かったです。人間の立場から、怖いものだと恐れるけれど、くまはくまの生き方役割もあるので、共生できるようにしていきたいですね。(大人)
・くまのうんちのにおいがどくとくだった。ほねが大きかった。(子ども)

行事報告



9/23(水・祝)「きのこウォッチング」(26人)

参加者の声・マメザヤタケを見つけたのですが、最初はキノコなのか半信半疑でした。キノコのあり様の多様さに面白さを感じました。雨中で大変でしたが、宝探しをしているようで楽しかったです。(大人)
・がけをおりるのがたのしかったです。けんぴきょうでみるもたのしかったです。いろいろなきのこをみつけられてたのしかったです。(子ども)

くずはの家 行事案内

場所は全て くずはの広場

日時	テーマ / 講師	対象・定員	受付開始
10月24日(土) 9:30~15:00 (受付終了 14:00)	秋のつどい 1日目~みんなで遊ぼう!~ 木の実を使った遊び、クイズラリー、もりりんと森の音楽隊、など 協力：えのきの会	どなたでも ご自由にご参加ください	当日 予約不要
10月25日(日) 9:30~15:00 (受付終了 14:00)	秋のつどい 2日目~みんなで作ろう!~ 自然素材を使ったクラフト、火おこし体験、秦野名水喫茶、もりりんの部屋、など 協力：ボランティアの会		
11月1日(日) 10:00~11:00	「かみしばい はじまるよ♪」 えのきの会自然遊び分科会・くずはの広場指導員	どなたでも ご自由にご参加ください	当日 予約不要
11月28日(土) 9:30~11:30	「ススキのみみずく作り」 えのきの会自然遊び分科会・くずはの広場指導員	小学生以上 20名 (小学3年生以下は保護者同伴)	11月1日
11月29日(日) ①9:30~12:00 ②13:30~16:00	「自然素材のクリスマスリース作り」 講師：石井ふさ枝氏 協力：ボランティアの会	小学5年生以上 各回 20名 初めての方優先 (費用：1000円)	11月1日 ※経験者は7日から受付



9/27(日)「親子で魚つり」(17人)

参加者の声・川のきまり、魚つりについて、わかりやすく教えていただきありがとうございました。魚を釣っておわりではないこのような会はこれからも続けて欲しいと思います。魚つりシリーズ春にもあるといいな。(大人)
・じんせいではじめて魚をつかまえてとてもうれしかったです。(子ども)

お問い合わせは 電話・FAX・メールで

TEL&FAX 0463(84)7874

E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

10月の休館日

5日、13日、14日、19日、26日

11月の休館日

2日、4日、9日、16日

24日、25日、30日

ホームページ



メールアドレス



秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家のボランティア活動

☆9月の活動(参加者：延べ53名)

定例会：1回目は、久しぶりの活動なのに朝から雨。でも室内で、夏休みにたくさんのお客さんをお迎えしたスリッパをきれいにいただきました。つどいのクラフト準備などもできました。後半は雨が上がり、セミの抜け殻調査を実施。みんなで146個も集めました。後日、会員が花壇のユズでクマゼミの抜け殻を発見し、くずは緑地での発生が確認されました。

2回目は、夏休みの間に荒れてしまった広場の大掃除。進入路やくすのき広場の落ち葉を掃いたり、草を抜いたりして、すっかりきれいになりました。はびこって困っていたヤブタバコの抜き取りも実施。リヤカー2杯分もありました！長雨で倒れてしまったシイタケ棚の修繕もいただきました。花壇の会：ピラカンサなど、花壇の樹木の剪定と、カエデの花壇の草取りをしました。

とんぼのせせらぎ：休館日のためお休みしました。

☆これからの活動

定例会：10/15(木)、11/19(木)

花壇の会：11/6(金)

とんぼのせせらぎ：10/22(木)

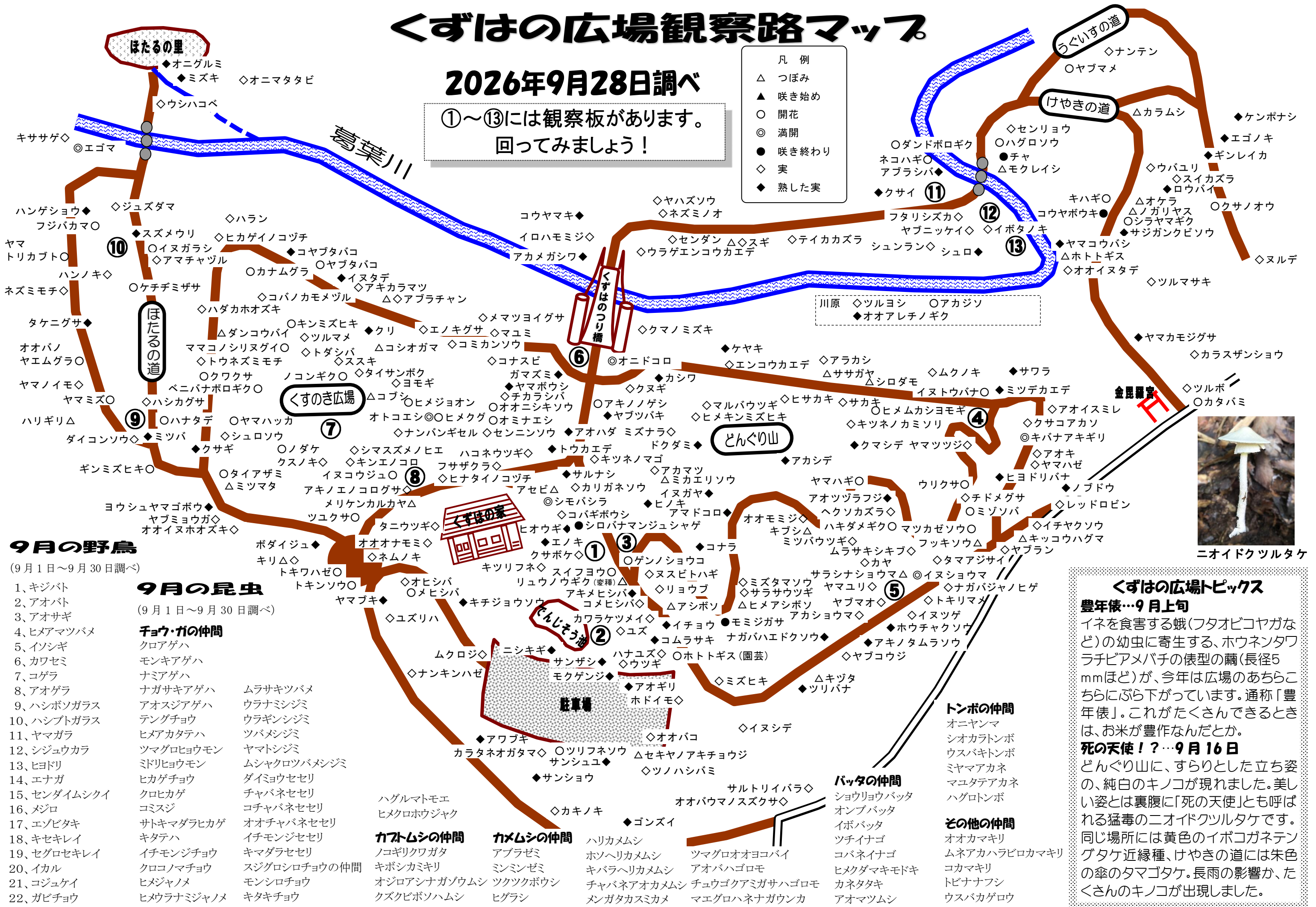


くずはの広場観察路マップ

2026年9月28日調べ

①～⑬には観察板があります。
回ってみましょう！

凡 例	
△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実



9月の野鳥

(9月1日～9月30日調べ)

- 1、キジバト
- 2、アオバト
- 3、アオサギ
- 4、ヒメアマツバメ
- 5、イソシギ
- 6、カワセミ
- 7、コゲラ
- 8、アオゲラ
- 9、ハシボソガラス
- 10、ハシブトガラス
- 11、ヤマガラ
- 12、シジュウカラ
- 13、ヒヨドリ
- 14、エナガ
- 15、センダイムシクイ
- 16、メジロ
- 17、エゾビタキ
- 18、キセキレイ
- 19、セグロセキレイ
- 20、イカル
- 21、コジュケイ
- 22、ガビチョウ

9月の昆虫

(9月1日～9月30日調べ)

- チョウ・ガの仲間**
- クロアゲハ
 - モンキアゲハ
 - ナミアゲハ
 - ナガサキアゲハ
 - アオスジアゲハ
 - テングチョウ
 - ヒメアカタテハ
 - ツマグロヒョウモン
 - ミドリヒョウモン
 - ヒカゲチョウ
 - クロヒカゲ
 - コムスジ
 - サトキマダラヒカゲ
 - キタテハ
 - イチモンジチョウ
 - クロコマチョウ
 - ヒメジャノメ
 - ヒメウラナミジャノメ
- ムラサキツバメ**
- ウラナミシジミ
 - ウラギンシジミ
 - ツバメシジミ
 - ヤマトシジミ
 - ムシヤクロツバメシジミ
 - ダイミョウセセリ
 - チャバネセセリ
 - コチャバネセセリ
 - オオチャバネセセリ
 - イチモンジセセリ
 - キマダラセセリ
 - スジグロシロチョウの仲間
 - モンシロチョウ
 - キタキチョウ
- カストムシの仲間**
- ノコギリクワガタ
 - キボシカミキリ
 - オジロアシナガゾウムシ
 - クズクビボソハムシ
- カメムシの仲間**
- アブラゼミ
 - ミンミンゼミ
 - ツクツクボウシ
 - ヒグラシ
- ハリカメムシ**
- ホソヘリカメムシ
 - キバラヘリカメムシ
 - チャバネアオカメムシ
 - メンガタカスミカメ
- ツマグロオオヨコバイ**
- アオバハゴロモ
 - チュウゴクアミガサハゴロモ
 - マエグロハネナガウンカ
- バッタの仲間**
- ショウリョウバッタ
 - オンブバッタ
 - イボバッタ
 - ツチイナゴ
 - コバネイナゴ
 - ヒメクダマキモドキ
 - カネタタキ
 - アオマツムシ
- トンボの仲間**
- オニヤンマ
 - シオカラトンボ
 - ウスバキトンボ
 - ミヤマアカネ
 - マユタテアカネ
 - ハグロトンボ
- その他の仲間**
- オオカマキリ
 - ムネアカハラビロカマキリ
 - コカマキリ
 - トビナナフシ
 - ウスバカゲロウ



ニオイドクツルタケ

くずはの広場トピックス
豊年俵…9月上旬
イネを食害する蛾(フタオビコヤガなど)の幼虫に寄生する、ホウネンタワラチビアメバチの俵型の繭(長径5mmほど)が、今年は広場のあちらこちらにぶら下がっています。通称「豊年俵」。これがたくさんできるときは、お米が豊作なんだとか。
死の天使!?!…9月16日
どんぐり山に、すらりとした立ち姿の、純白のキノコが現れました。美しい姿とは裏腹に「死の天使」とも呼ばれる猛毒のニオイドクツルタケです。同じ場所には黄色のイボコガネテングタケ近縁種、けやきの道には朱色の傘のタマゴタケ。長雨の影響が、たくさんのキノコが出現しました。